

## 8-2-2 業界展望を考える若手技術者の会

### 1. 委員会の開催

若手の会は、全国から 20~30 代のメンバーが主に集まり活動を展開している。今年度は委員公募を行い、令和 3 年 7 月より体制を新たに始動した。

若手の会は、月 1 回程度の会合とあわせて、他支部の若手組織との連携や業界外の異業種との連携を図っている。今年度はオンライン上にて、定例会を 7 回、イベント 4 回、アンケートを開催した。

### 2. 実績報告

#### (1) プレゼンテーション力を高めるセミナー

コロナ禍によりコミュニケーションのあり方が変わり、オンラインを介したコミュニケーションでは意図を的確に伝えるためには対面よりも丁寧かつわかりやすい伝え方を意識する必要がある。そこで、プレゼンテーションへの苦手意識の克服、伝わる・結果につながるプレゼンテーションをテーマにセミナーを開催した。

セミナーには全国から 18 名が参加し、セミナーで得た気付きや学びを踏まえ、若手の会のミッションでもある“業界活性化の一大ムーブメント”を興すために、若手の会の組織としての“パーパス”について議論した。

#### (2) ビジュアル思考を学ぶウェビナー

働き方改革やコロナ禍、D&I など外部環境の変化において、業務遂行上不可欠な“会議”をいかに短時間で、意思疎通を図り、目的を達成していくかが課題である。このような課題に対して、ビジュアル思考を学び、これからの時代にあった会議を若手から提案・実践し、日常の会議を変えていくためのウェビナーを開催した。

ウェビナーには全国から 25 名が参加し、会議におけるビジュアライズの活用例やメタファー（比喩表現）・フレームの利用法等を学んだ。

#### (3) 建コン WILLSUMMITWORKATION（全国交流会）

北陸支部若手技術者 WG、中部支部若手の会と協働で、全国各支部の若手組織代表者が一堂に会し、オンライン会議では補えないコミュニケ

ーションを図り、若手組織間のさらなる連携強化・情報共有、そして新たなアイデア創出を目的として、全国交流会を開催した。今回はコロナ禍にも配慮し、大都市での参集を避け、ワーケーション先進地である長野県千曲市を開催地とし、基本対面形式（一部 Web 会議システムを併用）で行い、若手組織代表者 40 名が参加した。（一社）信州千曲観光局が進める千曲市ワーケーションを体験しながら交流し、若手の会の新しいアクションのアイデアを議論した。

#### (4) 建コン Assemble the WAKATE（支部交流会）

本部若手の会、各支部若手の会がそれぞれ単独ではなく、互いが協力し合い相互作用で若手の会を組立て、業界を盛り上げていくことを目的に、中国支部若手の会と協働で支部交流会を広島県呉市にて開催した。「建コンのやりがい・魅力・成し遂げたいこと」の議論に加え、広島県が力を入れているアーバンスポーツにも触れ、普段得られない体験の中で交流を深めた。

#### (5) コロナ禍を経た若手の働き方実態調査

令和 4 年 10 月に建設コンサルタンツ協会若手の会所属委員（全国各支部の若手組織）を対象とした「コロナ禍を経た若手の働き方実態調査」を実施した。調査は、各社・個人が進めてきた「生産性向上、業務効率化、残業削減」、「働き方の多様化」の内容についてアンケート形式で行い、調査結果（速報）を取りまとめた

### 3. 次年度の活動について

次年度は、令和 4 年 10 月に実施した若手の働き方実態調査の報告書作成や全国各支部の若手組織との連携を強化するプラットフォームの構築、若手の課題に寄り添うセミナーの実施、若手思いを伝える SNS の活用のほか、業界内外の組織との交流や連携等を図り、「業界活性化の一大ムーブメントを起こす」というミッションに向けて、試行錯誤をさらに進めていきたいと考えている。

（業界展望を考える若手技術者の会委員長

青柳 竜二）